



森下仁丹

2020年9月16日

報道関係各位

森下仁丹株式会社

一般社団法人 日本画像学会 刊行「日本画像学会誌」へ
「森下仁丹におけるカプセル技術とその展望」
と題した解説文が掲載されました

森下仁丹株式会社（本社：大阪市、代表取締役社長 森下雄司、以下「当社」）は、「一般社団法人 日本画像学会」が刊行する「日本画像学会誌」（2020年59巻4号）に、当社カプセル事業本部カプセル開発部の西川雄大と橋本拓が「森下仁丹におけるカプセル技術とその展望」と題し執筆した解説文が掲載されたことをお知らせいたします。

「一般社団法人 日本画像学会」は画像の基礎と応用に関する情報交流を行い、画像技術の進歩と発展を目指す技術者、研究者の集まりで、画像科学と技術およびこれらに関する分野の情報を交換、吸収するさまざまな場を提供する学会です。今回「日本画像学会誌」に掲載された「森下仁丹におけるカプセル技術とその展望」には、当社の可食系シームレスカプセル技術とその応用例にあたる化粧品向け崩壊性皮膜シームレスカプセルやプロバイオカプセルと耐酸性皮膜を有するシームレスカプセルなどについて解説しているほか、当社技術の新たな展開先である産業用途カプセルについても解説しています。



日本画像学会誌

2020年59巻4号

発行日: 2020/08/10

Imaging Today (p. 376-386)

「森下仁丹におけるカプセル技術とその展望」

森下仁丹株式会社 カプセル事業本部カプセル開発部

西川 雄大, 橋本 拓

「日本画像学会誌」は画像分野ならびに画像関連分野における画像材料、画像プロセス、画像処理などに関する理論的ならびに実験的な研究報告を対象とした学会誌です。

一般社団法人 日本画像学会ホームページ <http://www.isj-imaging.org/isj.html>

森下仁丹のカプセル開発について

「液体の仁丹を作れないか」その思いから開発がはじまり、今では当社のコア技術として発展した「シームレスカプセル技術」は、粉末、液体の形態に依らず様々な物質および微生物を包むことができ、また、皮膜の調整により、ドラッグデリバリーシステムを実現する医薬品から、フレーバーオイル、プロバイオティクス、機能性オイル、親水性エキス、カプセルinカプセルなどの食品用途、化粧品、日用品などへの展開が可能です。さらに、樹脂硬化剤内包カプセル、樹脂へ機能性を付与するカプセル、蓄熱材内包カプセルなど産業分野への応用開発にも注力しています。



【リリースについてのお問合せ先】

森下仁丹株式会社 広報担当 畑中・竹中 TEL: 06-6761-1131(代) FAX: 06-6768-1661



森下仁丹 〒540-8566 大阪市中央区玉造一丁目2番40号